

## 【大会テーマ】掘りおこせ 退公連の魅力を！～筑豊からの発信～

新たな歴史を切り拓いた  
筑豊ブロック県大会

福岡県退職公務員連盟 会長 稲田 瑞穂

福岡県退職公務員連盟は、9月24日（土）、筑豊ブロックで第3回目の県大会を開催しました。ブロック順番制に替わり、筑豊ブロックが、第3回の大役を担ってくれました。地元実行委員の皆さん方は、発表者・司会者・会場受付・案内・接待・駐車場・映像と音響などの担当者を決め、献身的な底力と結集力とを発揮されて成功を納められました。

「なぜ、70余年もある福岡県退公連の県大会が3回と少ないのか」と思われた方がおられると思います。それをお話ししますと、今から4年前までは、会議のすべてを福岡市の天神ビルで開催していました。当時の会議は、評議員会・三部長会・研修会の三つの会議がありました。

評議員会は、4月と6月の2回実施します。決算書は4月、予算案は6月と別々に提案していました。評議員からは、予算案と決算書を同時に提案して欲しいとの要望がありましたが、県連は、日公連の実務を遵守しているので、同時に提案することは出来ないと回答しました。

後日になって考えてみますと、日公連は、法人組織なので、公認会計士が必要です。福岡県連は、法人組織ではないので公認会計士の必要がありません。論議の末、福岡県連は、予算案と決算書を同時に提案して良いことになりました。

また、三部長会は、事務局長と女性部長と組織部長の三部長が、同じ部屋で、同時刻に会議をしていました。単独部会の会議ではありませんでした。

研修会は、10月頃に年金の講習会が行われました。講師は水落元会長でした。県連の諸会議には、国会議員や首長や支援者の方々が、参加できる体制ではありませんでした。私は、国会議員や首長や支援者の方々が、参加できる会議にしたいと考えていました。

そこで、平成30年の評議員会に、研修会を県大会に変更するという議案を提案し、それが承認され、県大会が開催できるようになりました。

そして、その年、福岡市の天神ビル4階で、第1回目の県大会を開催しました。もちろん、国会議員の方々の参加がありました。念願が達成されたのです。

令和元年に、第2回目の県大会を開催しました。しかしその後、新型コロナウイルス感染症が流行したため、県大会は2年間中止になりました。

ゆえに本年度の県大会が、3回目に当たります。今年度の県大会は、筑豊の皆さん方の熱い心と責任感とを掘りおこせたように思えます。テーマにある「掘りおこせ退公連の魅力を」に迫れたと思います。

本年度の県大会は大成功です。一つは、県連の新しい歴史に輝く幕を開けてくださったこと。二つは、筑豊ブロックの皆さん方の底力と結集力とを発揮してくださったことです。ご苦労様でした。ありがとうございました。



稲田会長

県大会特集

～歴史の1ページを切り拓く～  
福岡県筑豊ブロック大会

9月24日(土)、ユメニティのおがたにて第3回福岡県退職公務員連盟県大会(筑豊ブロック大会)を開催しました。参加者約100名は、会員減少に歯止めがきかない現状に対して「掘りおこせ退公連の魅力を」と心一つにしました。



来賓の皆様



ひとりになっても  
副会長 藤淵 明宏

ヘレン・ケラーは「世の中には辛いことがたくさんあるが、それに打ち勝つことも満ち溢れている」との言葉を残しています。

たしかに、私、卑怯にも県退公連の一員として先々見通し得ない辛さを有していました。ところが、参加者・来賓・事務局等のご意見・思いなどをお聞きしたり、交わったりしていく過程で、あれだけ苦渋を表出していた自分は、本県大会において、全身の垢を洗い流し、さらに清めたような気持ちになりました。これから先、艱難辛苦が待ち受けています。それと闘っていくとする態度に、しかもひとりになっても活動しようと思うようになりました。ヘレン・ケラーは、誰しも困難・苦渋はあるでしょうが、それ以上に打ち勝つことの道がたくさんあるという言葉からも。私は、県退公連活動の目的をしっかり確認しつつ困難な荒波を乗り越えていく所存です。



県大会を終えて  
経理部長 垂水 隆

会場の選定でまず苦労しました。県内にある4ブロックを大会ごとに移動することになっておりますが、交通の便や会場費等の検討が大変でした。次に、県大会の充実のため内容を検討し、いろいろな議論をする中、内容がなかなか決まりませんでした。今回は、各支部の皆さんの実践とその悩みを出し合いながら、退公連の魅力や生きがい、また、連帯感を高めるための活動について話し合ってもらいました。その際、各支部の皆様の努力と情熱を感じることができました。今回の県大会の実施を通して、県本部として、各支部を支えながら、連帯感を保つために何ができるか検討していく必要があると感じました。また、退公連の魅力を生み出すための県大会にするために、今後努力していきたいと考えています。最後に、今回の大会を担当の筑豊ブロックの皆様へ感謝申し上げます。



県大会を振り返って組織  
兼福祉部長 菅 勉

各地区持ち回りの第1回県大会でしたが、参加人数の面でもかなり心配しました。しかし、県下各地から約100名が参加、来賓も国会議員本人5名、代理6名等計17名が出席。優良支部等表彰、4支部による実践報告があり、最後にアトラクション「創作(元祖)炭坑節」が力強く演じられて盛会裡に終了し、正直ほっとした次第です。しかし、安心してはいられません。

今年度は、新会員65名、ご逝去等235名、差し引き170名の減少です。このままでは、5年後には、正会員が千人前後になってしまうかもしれないのです。筑紫南支部でも、教育委員長を退任された大先輩の働きで、新会員7名が加入されましたが、ご逝去等で9名が退会され、結局2名減となりました。将来的には、お先真っ暗な部分もあり、まさしく「勧誘活動の推進」が喫緊の最重要課題となっています。皆さん、組織存続のため、日々頑張りましょう!



事務局長 藤崎嘉丈

私が、事務局長になって「退公連の会員数の激減を、いかに止めるか!」ということが大きな命題でした。

その方策として、退公連を県下に広めるために、県内を4ブロックに再編成して、地元実行委員会を立ち上げ地区回りで県大会を開催することでした。そのことに対して多くの支部から、不安の声が上がりました。

また、コロナ禍で開催できない。会員は、毎年200名前後が減少していく。正直焦りがありました。今年度の4月の評議員会で、筑豊ブロックでの開催にゴーサインが出ました。3年かかりました。

私は、この筑豊ブロックのでき次第によって福岡県退公連の運命が決まる。その覚悟を持って取り組みました。紆余曲折ありましたが、そんな思いが筑豊ブロックの会員の皆さんに伝わったのだと思います。

私たちは、将来を担う、子どもや孫たちに退公連の必要性を伝え、私たちが守ってきた社会保障制度を何としても引き継がなければなりません。少子高齢化社会の中で、ますます退職後の生活保障が厳しくなります。厳しくなるからこそ、シニアパワーを復活させ、今まで以上に活性化させる必要性を強く感じます。会員の皆様には、厳しいことも言いますが、これからの5年、10年がターニングポイントであることを常に念頭に入れ、福岡県退公連を進化させていこうではありませんか。



地元実行委員  
筑豊ブロック地元実行委員長  
田川市支部 道 富雄

「自転車は、こぎ続けなければ倒れる。退公連も活動を続けなければ、潰れる私が、この田川市支部に入った時は、教職員以外に警察や郵便局等の方々もおられ100名以上の会員がおりました。しかし、現在は教職の方しか入会せず、しかも管理職経験者がほとんどです。また、会員の高齢化が進み、亡くなる方が大変多く、それに新規加入者が追いついていかず、会員の減少は目を覆うばかりです。しかも、ここ2年半コロナ騒動で活動が休止状態です。会員すべてが現在の危機的状況を理解し、新しい活動の創造と実践を行うことが求められます。

飯塚支部長 吉松 利文

「県大会謹詠」

コロナ禍(下)ノ開催  
紆余曲折。開催慎重論  
稲田会長ノ英断!  
藤崎局長ノ苦勞。  
担当役員ノ献身的協力  
正二天祐ナリ!

御来賓ノ臨席多数アリ 塩川宮若市長熱心祝辞  
6名ノ実践発表二感銘  
会員各位ノ至純ノ情熱 大会ハ成功ニ至ル!  
感謝アルノミ 感慨無量  
国家無クシテ国民無シ 国民無クシテ国家無シ  
国家ノ礎公務員ナリ。  
「われらの信条」、拳拳服膺シテ実践ス。  
福岡県退職公務員連盟 萬歳!



嘉穂山田支部長  
田中 義春

令和4年9月24日、ユメニティのおがたにおいて、福岡県大会が開催されました。

大勢の国会議員の皆様や宮若市長様の温かい励ましのお言葉をいただきました。

各支部の実践発表は素晴らしく、大変参考になりました。会員数減少という厳しい現実を前に「掘りおこせ 退公連の魅力を!」を合言葉に、会員を増やし「われらの信条」を実践していきましょう。



鞍手支部長 有吉 宏昭

退公連の福岡県大会を今回のような形で開催するのは初めてということでしたので、不安なスタートでしたが、鞍手支部からは、県本部の方も含めて11名が参加し、何とか重責を終えることができました。

手抜かりの点は多々あったとは思いますが、初めての大会ということで、お許しをいただきたいと思います。来年度担当される北九州地区の皆さんのご健闘をお祈りするとともに、ご指導いただいた退公連本部の方々にお礼を申し上げます。



意気込み語る  
高木眞  
北九州ブロック長

地域性を生かした見事な筑豊ブロック大会！  
《次期開催地区》北九州ブロック長 高木 眞

筑豊ブロック4支部のチームワークが発揮された「筑豊大会」が、盛会のうちに終了したことに「おめでとう！」と「ご苦労様！」を贈ります。田川市・飯塚・嘉穂山田・鞍手4支部長を中心に、地域の特性を生かした運営に、退公連の強さと深まりの絆を感じました。その絆と意気込みを「北九州ブロック大会」に引き継がねばなりません。退公連のめざすところに沿って、「北九州らしいおもてなし」を醸成していきたいものです。足を運んでご覧ください！



《報告者》

田川市支部 坪根 清博



県大会会場に着くと、若い会員や準会員の方々が忙しそうにお世話をしてくださっている姿を見て頼もしくなりました。田川市支部会報より長老の方々の「私の人生を振り返って」2題と、例年の支部総会で昭和歌謡等を歌う楽しみ会を発表しました。

飯塚支部 大里 錦子



会場を出る際、会員の方々より心のかもった声をかけていただき、帰りの足取りが軽くなりました。今回の大会が今後の退公連の前進につながれば嬉しいです。

鞍手支部 有吉 宏昭



ありのままの鞍手支部の実践報告を、と考えたときに大会テーマである「掘り起こせ 退公連の魅力」に反することになりはしないかと心配になりました。というのも、この2年間、コロナ禍のため活動はほとんどできませんでした。そこで、ご批判は承知の上で、現状と過去のことも含めて発表をしました。また、他支部の活動に裏打ちされた発表を伺って、今後の支部活動のご示唆をいただきありがとうございました。

司会進行  
田川市支部 皆川 待子



第3回県大会では、会開行事の司会進行を担当しました。9月24日が開催日だったので、コロナ禍での感染状況に不安はありましたが、県事務局と連絡を取りながら進行台本を作成しました。一番気をつけたのが来賓あいさつ者8名の方の役職と氏名でした。再度インターネットで確認し、進行台本を何度か修正しました。当日の司会では皆様の協力をいただき無事に終わることができました。今回は、貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

田川市支部 道 陽子



魅力ある活動で会員増を図るために、田川市支部女性部は「手軽にみんなで楽しく活動を」をテーマに参加意欲を高めてきました。「楽しそうよ参加してみようか」「気負わずに手軽に活動ができそうよ」等の声が会員から聞かれるように、調理実習や小物づくりを中心に活動を実施してきました。活動後は、ティータイムの時間を設定し、コミュニケーション図ってきた結果、会員相互の親睦を深める上で大きな効果があり、活動のよさの伝授もできました。

嘉穂山田支部 大里 茂晴



「私の生きがい」というテーマで、発表の場を与えていただき、退職後8年間の過ごし方について振り返る良い機会となりました。これからも、身体の動く限り、好きな農業を通して、地域の方々とコミュニケーションを取りながら、皆さんに喜んでいただけるような活動を続けていきたいと思っています。当日参加された多くの会員の皆様に、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



加留部 謹一

筑豊の退公連の底力  
魅力起して梁下に広む  
九月二十四日(土)の県大会は多数の国会議員列席のもと、世界的視野に立った年金を中心課題として、退公連の現状を問う。今後退公連の魅力を、所屬感を強める会員協力の活動と共有する歴史的大会でありました。筑豊の底力が北九州地区に継承され、一層の組織の拡充、魅力の深化が期待されます。



アトラクション



「田川創作宗家 月咲 SEED による創作炭坑節」

参加者も一緒に踊りました



国会議事堂前にて

## 議員へ要望書提出

10月25日(火)、創立75周年令和4年度日本退職公務員連盟全国大会が、渋谷公会堂にて開催されました。福岡県退公連からは、稲田会長を含む計5名が参加しました。



式典の様子

10月25日(火)に5名の代表団で午前中、県選出の9名の衆議院議員に2班に分かれて陳情した。  
藤崎事務局長と2人で4名の議員に「二つの要望事項」を中心に陳情した。国会開催と重なり在室は堤かなめ議員のみとなりましたが、「公務員の処遇・環境整備等」について協議できた。特に議員から「教員の多忙化の解消」をはじめ、要望事項にも努力する旨の回答をいただいた。  
午後は、渋谷公会堂へ移動し、創立75周年全国大会に参加した。

### 国会議員への陳情



浮羽支部事務局長  
生野 忠生



### 全国大会へ参加して



事務局長  
藤崎 嘉丈



事務局長としての皆さんのお世話と車椅子での旅に対して、不安はあったが、出たところ勝負で行うことにした。とにかく私が車椅子だからというハンディだけで迷惑をかけるわけにはいかない。議員会館や東京を車椅子で暴れ回る覚悟で、福岡空港を後に羽田空港へ飛び立った。  
結果は、私にとっても5名の代表団としても大きな成果を持って福岡に帰

### 一期一会



小倉門司支部支部長  
善岡 美智子



創立75周年の全国大会に参加でき、日本退職公務員連盟の組織の大切さを改めて知ることができた。北海道から沖縄までの各都道府県代表が参加され、コロナ禍で3年ぶりに開かれ、5つのスロガンのもと盛大に行われた。  
講演では「これからの年金改革」持続可能性を給付の十分性の維持を目指して」という内容で、年金の課題を指摘された。  
大会の最後に、私たち福岡県連の稲田瑞穂会長の万歳三唱の発声が歓喜に満ち感動した。

ることができた。議員会館での陳情活動・国会内の見学・全国大会とすべてが心に残るものとなった。  
代表団のすべてが、今のままではいけないと課題を持ち帰った。私が強く考えさせられたことは、  
①日本のGDPを上げる方策にも目を向ける  
②若者に年金への信頼を持たせるためには、現役世代とともに痛みを分かち合う視点が必要  
令和6年に向けて厚労省も議論をはじめました。退公連としてもそれに先がけて、これからの方向性を指し示し、子どもや孫の世代まで、持続可能な社会保障体制にするために、会員一同、危機意識を持って、これからの退公連のありようを捉えなおし、県連としての方向性を明らかにしていくことの大切さを強く思いました。

麻生議員事務所訪問の様子



堤議員事務所訪問の様子

創立七十五年退公連全国大会参加報告  
野上 加留部 謹一  
一 衆議院議員への要望書提出の祝文受諾  
各議員の事務所訪問、親しく要望書受諾の  
写真撮影、事務所内に満ちる議員の政治情熱  
と風格に魅れ、記者の誠心誠意を応答を賜る  
二 三年ぶりの全国大会、心新たに参進  
降下一部会長の、長寿社会における生きが  
いある貢献への期待表明、前参議院議長山  
東昭子氏祝辞の、人材育成、坂本純一氏の  
記念講演、これからの年金改革、に未来展望  
最後に、稲田瑞穂氏の万歳三唱で熱潮参進



鞍手支部代表  
加留部 謹一

